

無痛分娩マニュアル（医師向け）

本マニュアルは、当院における硬膜外麻酔による無痛分娩の流れ、副作用、合併症、入院から退院までの標準的スケジュールをまとめたものです。

医療従事者や他院スタッフに加え、妊婦さんご本人の理解の一助となることを目的としています。

1. 無痛分娩とは

無痛分娩とは、硬膜外麻酔により分娩時の痛みを和らげる方法です。

当院では希望者に対し、安全に最大限配慮した上で無痛分娩を実施しています。

意識は保たれ、分娩の進行もわかる状態で出産を迎えることが可能です。

2. 適応と禁忌

【適応】

- 正常経膣分娩予定の妊婦
- 硬膜外麻酔に対する理解と同意が得られた方

【禁忌】

- 麻酔薬アレルギー
- 出血傾向（血小板減少や抗凝固療法中）
- 感染症（穿刺部位または全身）

3. 硬膜外麻酔の実施手順

1. 妊婦を側臥位または座位にして背部を消毒
2. 局所麻酔後、L2/3 または L3/4 間に穿刺
3. 硬膜外腔確認後、カテーテル挿入・固定
4. テストドーズ後、麻酔薬の間欠投与を開始

4. 合併症と副作用（硬膜外麻酔）

【低血圧】：輸液負荷、昇圧薬投与で対応

【硬膜穿刺後頭痛】：安静・カフェイン・血液パッチで治療

【麻酔効果不十分】：体位調整や追加投与、再挿入で対応

【局所麻酔中毒】：慎重な経過観察と、循環器作動薬と脂肪乳剤を用いた全身管理及び局所麻酔中毒の治療。状況により高次医療施設との連携

【神経障害（極めて稀）】：早期発見・専門医連携

【高位脊椎麻酔】：麻酔が過剰に作用し、呼吸抑制や意識低下をきたすことがあるため、酸素投与・気道確保など迅速な対応が必要

5. 入院から退院までの流れ（当院）

以下は、当院における無痛分娩の標準的な入院スケジュールの概要です。

時間	内容	備考
9:30	入院	モニター装着・診察・説明
	メトロイリンテル挿入	子宮頸管熟化
	誘発剤点滴開始	陣痛誘発（オキシトシンなど）
	陣痛進行（子宮口 ～）	無痛分娩の準備開始
	硬膜外麻酔開始	痛みの軽減・麻酔管理開始
	分娩（当日～翌日）	経膈分娩または帝王切開
翌日	産後入院（1週間）	母子の健康観察と育児支援
週間後	退院	診察後、退院